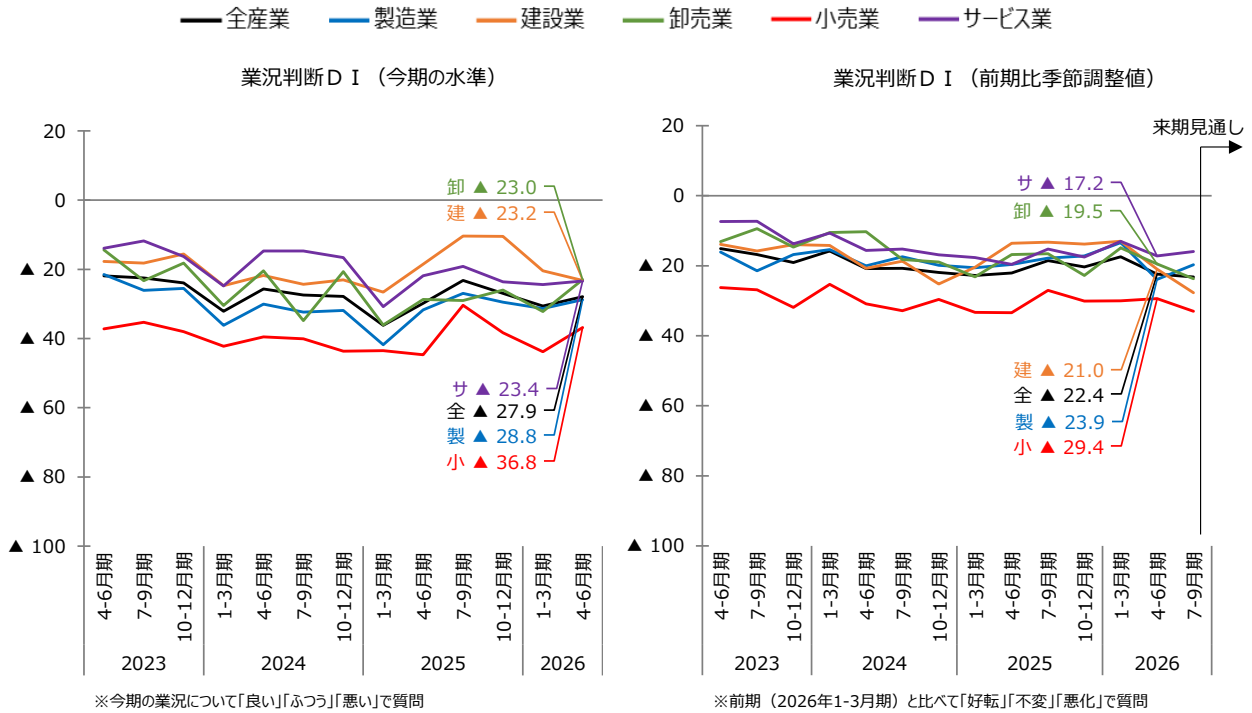


第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 東北

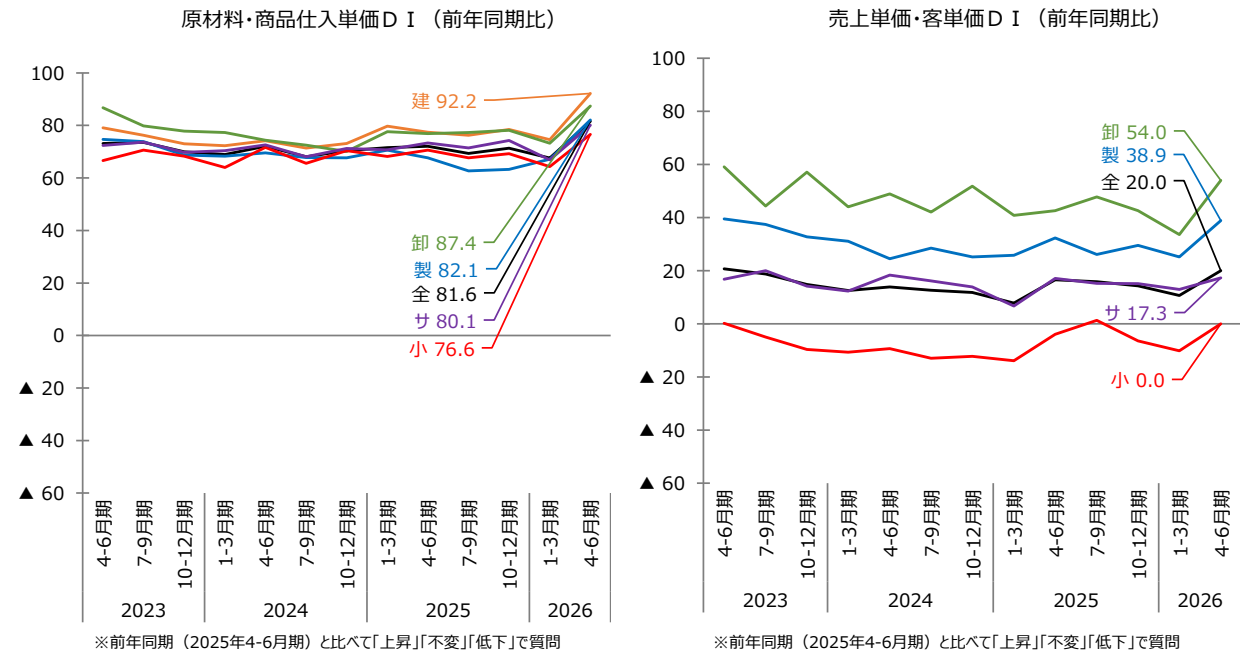
1. 業況感

東北地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年1-3月期）より2.7ポイント増の▲27.9と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、卸売業、小売業、製造業、サービス業で上昇し、建設業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より14.0ポイント増の81.6と2期ぶりに大幅に上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より9.3ポイント増の20.0と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。



<調査概要> 調査時点は2026年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

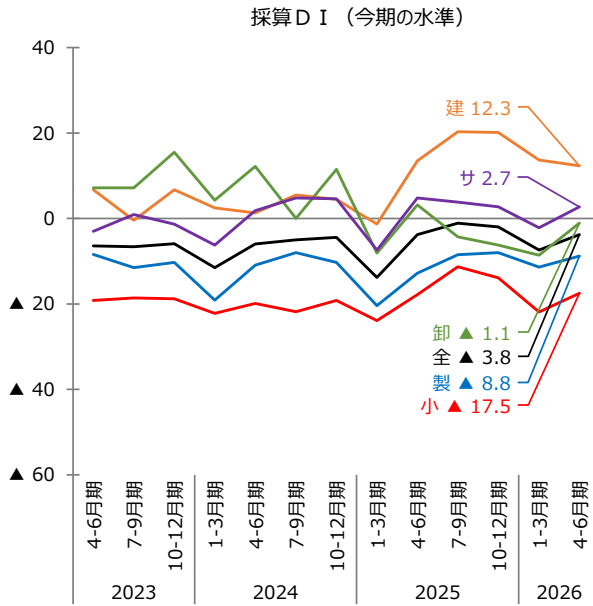
今期の調査対象企業数：18,834 有効回答企業数：17,734 有効回答率：94.2% うち、東北：1,752企業

※本資料の集計対象の都道府県は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県です。

第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 東北

3. 採算

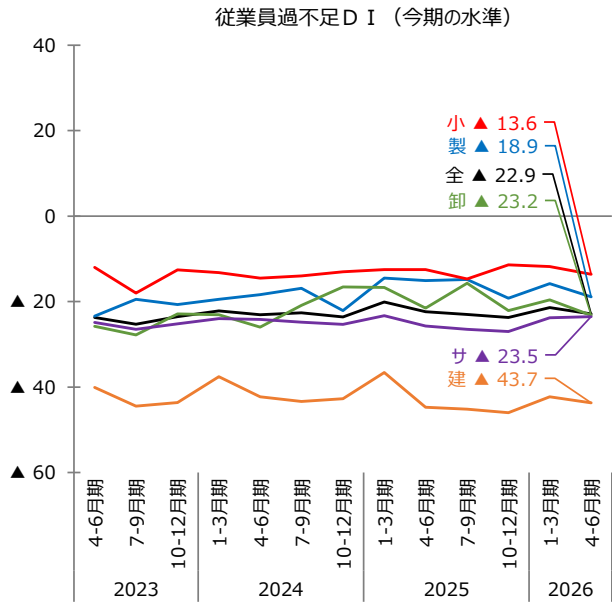
採算DIは、全産業で前期より3.6ポイント増の▲3.8と3期ぶりに上昇した。産業別にみると、卸売業、サービス業、小売業、製造業で上昇し、建設業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より1.5ポイント減の▲22.9と2期ぶりに低下した。産業別にみると、サービス業で上昇し、卸売業、製造業、小売業、建設業で低下した。



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 東北の中小企業の声

| | 業況判断の背景 | 業種 |
|-----|---|------------------------------|
| 現状 | 原材料の単価が上昇・供給不足で、特に製本に必要な接着剤が入ってこない状況が深刻化している。値上がり前に紙等の在庫を確保したことで、当面の生産は維持出来るものの調達不安定さやコスト増が業務全体に影響している。 | 製造業 オフセット印刷業（紙に対するもの） |
| | 材料価格の上昇と高圧ケーブル、キュービクル等材料入手に6か月以上期間を要する物もあり、引合い、受注、着工、完成、回収現金化まで長期となり採算面での悪化を招いている。 | 建設業 一般電気工事業 |
| | 中東情勢の悪化による物流・製品の送料高騰により、仕入商品の値上げ間隔が短く（2～3か月）、価格転嫁がスムーズに進まず、そのため利益幅が少なくなっている。また、賃金増での人件費負担も大きい。 | 卸売業 その他の各種商品卸売業 |
| | 大型・中型店が進出している中、商品単価の上昇や身近な商品であるゴミ袋がナフサの影響で仕入ができない状態であるため、顧客離れが起きている。 | 小売業 酒小売業 |
| | 中東情勢の悪化による建設資材の高騰で、建築企画・計画も延期や中止となっている。今後の見通しが立たず、職人たちの確保も困難になっていくと思われる。当事務所も影響は出ると思われる。 | サービス業 建築設計業 |
| 見通し | 7月の新商品販売に向けて、現在製造を加速させ在庫を確保している。新商品の販路開拓を進めており順調に進めば売上の向上が見込まれる。 | 製造業 肉加工品製造業 |
| | 世界情勢の影響でシンナー不足や材料が入手しづらい状況により、受注を逃す恐れがあり先行きが不安。 | 建設業 塗装工事業（道路標示・区画線工事業を除く） |
| | 中東情勢の影響により、仕入価格の値上がり、販売価格の値上げもある。先行きは不透明。 | 卸売業 他に分類されないその他の卸売業 |
| | 県の家電エコポイントやエアコン、蛍光灯の27年問題があり、交換需要の高まりがあって今期は増加傾向にある。ただ、需要の先食いなので来期以降が心配。 | 小売業 その他の各種商品小売業 |
| | 昨年12月、今年4月にあった地震が観光業には大いに売上に影響していると考えている。今後も自然災害等、または世界情勢（物価高）を考えて経営していくことを思うと先が見えない。 | サービス業 旅館、ホテル |

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)